



《新庁舎の施設配置など計画が固まる》

市民の利便を重視した 新庁舎配置計画

新庁舎建設に向けた 施設配置計画策定

広報はちまんたい第84号（6月4日発行）紙上で、八幡平市庁舎建設基本計画を策定したことをお知らせしました。この計画は、新庁舎の位置や規模、事業費など基本的な事項についての概要をまとめたものです。

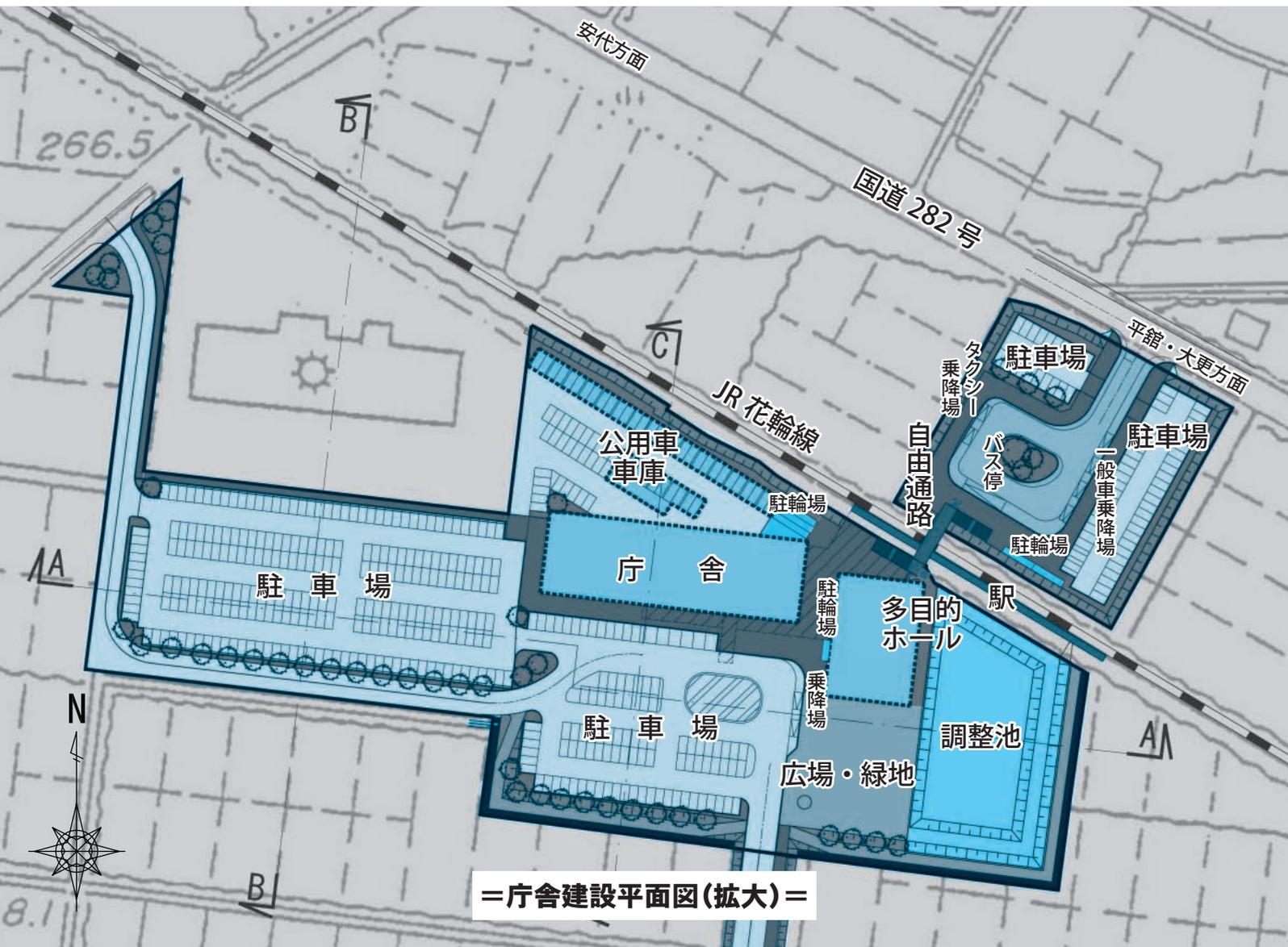
市は、この計画をもとに、新庁舎建設予定地周辺における上下水道、用排水、道路交通などの社会基盤整備の状況を調査。庁舎を建設するに当たって課題となる点などを整理しました。その上で庁舎などの建物や敷地内外道路などの配置について、計画を取りまとめました。

環境への配慮など 重視するポイントは

この計画をまとめるに当たっては、市の将来像である「農と輝の大地く岩手山・八幡平・安比高原の恵みに満ちた、交流拠点を目指して」を基本として、次の3つのポイントを重視しました。

①周辺環境に配慮し、景観を活かした施設整備

建設予定地の通称「平館野駄田圃」は、市を代表する優良



＝倉舎建設平面図(拡大)＝

な農地であるため、耕作の支障にならないよう農地の分断を避けるとともに、岩手山などの眺望にも優れた地域であることから、環境にも十分に配慮をすること。

②市内全域から安全・安心な道路交通アクセス経路の確保
市内各地から庁舎への往来のしやすさを考慮するとともに、災害に備えて2系統以上の経路を確保すること。

③将来の公共交通計画に合わせた誰もが利用しやすい交通結節点機能の充実と地域情報の発信
路線バスやコミュニティバスなどの連携・機能の充実や、線路で敷地が分断されないように配慮をすること。

**駅前広場の設置など
利便性を高める**

こうした点を踏まえて検討した結果、上に掲げた図が完成しました。

この計画では、国道282号と線路の間には、市民の利便性を考慮し、JR東日本と移設の協議を重ねている北森駅の駅前広場機能を設けます。バリアフリーとするため、線路を横断する自由通路にはエレベーターを設置。自由通路と庁舎、多目的ホールの間は

上屋を設け、雨の日でもぬれずに移動できるように配慮します。

庁舎敷地へのアクセス道路は、北側の駅前広場からのほか、西側と南側からも計画。南側から庁舎へアクセスする道路のルートなどは、今後さらに検討したうえで決定します。また、庁舎敷地内に、市民の皆さんから要望のあった多目的ホールを併設。休日でも自由に利用することができ、交流施設として整備します。

建設に向け計画的に取り組みを進める

この計画ができたことを受けて、次の段階では実際の設計に入ることとしています。設計業務は、広く公募して条件を満たす県内外の業者からの提案を受ける形で取り進めており、民間の委員も入った庁舎建設基本設計業者選定委員会にて提案内容を審査して、設計業者を決定します。

この設計を受けて、22年度には測量や実施設計などを行う計画です。実際に工事が始まるのは、23年度以降になる見通しです。

詳しくは、市企画総務部庁舎建設対策室(☎7612111、内線1412)まで。

除雪作業に理解と協力を

市は、降雪が市民の皆さんの日常生活などの支障にならないよう、市の管理する道路などの除雪を行っています。

早朝作業などに理解を

朝の通勤・通学路を確保するため、降雪量によっては早朝から除雪作業を行うことがあります。除雪車のエンジン音や作業による振動が皆さんの睡眠を妨げる場合もありますが、市民生活を確保するため、ご理解をお願いします。

宅地周辺は協力を

道路を開通させることを優先するため、玄関先などには除雪しきれなかった雪が残ってしまいます。一般通行車両と歩行者の安全を確保することを第一としていますので、宅地内などは、各家庭で除雪くださいますようお願いいたします。

民間の除雪サービス

八幡平市建設協同組合では、

個人や事業所の皆さんを対象に、有料で生活私道や宅地周辺などの除雪を請け負うサービスを行っています。除雪車の規格ごとの料金などは左の表を参考にしてください。
なお、これは標準料金であり、地域や積雪の状況、難易度などによって料金が変更になる場合がありますので、注意してください。

有料除雪サービスについては詳しくは、市建設協同組合（☎70-2211）、市道の除雪などについて詳しくは、市建設部建設課（☎74-2111、内線2512）まで。

【民間除雪サービス表】

住宅周辺、生活私道の除排雪料金

機種	除雪車の規格	作業単価 (10分)	移動単価 (10分)
ホイルドーザ車(排土板) ※()は排土板の大きさ			
小型	3ト(0.4立方㍓)	1,960	1,560
	4ト(0.5~0.6立方㍓)	2,010	1,600
	5ト(0.8~0.9立方㍓)	2,100	1,680
中型	7ト(1.2立方㍓)	2,450	1,960
	8ト(1.3~1.4立方㍓)	2,520	2,010
	9ト(1.5~1.7立方㍓)	2,850	2,200
大型	13ト(2.7立方㍓)	3,950	3,100
	16ト(3.0~3.2立方㍓)	4,500	3,600
ロータリー車(乗用タイプ)			
小型	30馬力以下	2,270	1,810
	30~40馬力	2,650	2,100
中型	72~85馬力	2,950	2,300
	120~130馬力	4,800	3,800
大型	175~180馬力	6,000	4,800
ロータリー車(手押しタイプ)			
小型	10~11馬力	1,170	930
	12馬力	1,320	1,060
	15~16馬力	1,380	1,110

※申し込みは市建設協同組合(☎70-2211)まで。
なお、表はいずれも標準料金であり、地域や積雪の状況、難易度により変更になる場合があります。

除雪作業が困難な人の相談を受け付けます

■住宅周辺などの雪かき(屋根など危険な場所は除く)

地区名	連絡先	内容
松尾地区	市社会福祉協議会本所(☎74-4400)	○松尾地区スノーバスターズ(無料)民生委員の調査で除雪対象世帯を事前に選定し、原則週末に実施
安代地区	市社会福祉協議会安代支所(☎72-2811)	○安代地区スノーバスターズ(無料)除雪対象世帯を事前に選定し、1月から3月までの日曜日に実施
市内全域	市シルバー人材センター(☎64-1511)	○住宅周辺の除雪 1時間：1,080円(交通費別途)

■屋根の雪おろし、住宅排除雪

地区名	連絡先	内容
市内全域	市建設協同組合(☎70-2211)	○屋根の雪おろし(作業員1人) 1時間 2,000円~ ○住宅排除雪 2ト車⇒1時間 3,125円~ 4ト車⇒1時間 3,500円~ 10ト車⇒1時間 4,375円~

市は、除雪作業が身体的に困難な人(一人暮らし老人、高齢者夫婦世帯、障害者世帯など)のため、市社会福祉協議会、市シルバー人材センター、市建設協同組合と協力して、相談窓口を左の表のとおり設けました。雪かきを依頼したい場合は、各窓口へ相談してください。

■その他の相談窓口

- 西根地区 市福祉部地域福祉課(☎76-2111、内線1165)
- 松尾地区 松尾総合支所地域振興課(☎74-2111、内線2103)
- 安代地区 安代総合支所地域振興課(☎72-2111、内線3112)、田山支所(☎73-2030)

年末年始の安比塗漆器工房 企画展を開催します

安比塗漆器工房では、はしを集めた企画展「箸ことはじめ展」を次のとおり開催します。

■期間 12月19日・ から22年1月17日・ まで(12月30日・ から22年1月3日・ までと、毎週月曜日は休業します)

■時間 午前9時半から午後5時まで

■場所 安比塗漆器工房



器に盛られた食べ物を、口に直接運ぶ実用の道具である「はし」。実用面だけでなく、3度の食事をより豊かに、楽しくしてくれるものの一つでもあります。企画した同工房スタッ

フの一人、坂根雄心さん(荒屋新町)は「敷居が高く感じられる漆器ですが、身近な『はし』から入ってみてほしいと思い企画しました。直接口に入るものだからこそ、漆器の良さが感じられると思います」と企画展に込める思いを語ってくれました。

詳しくは、安比塗漆器工房(☎63-1065)まで。



携帯電話などの位置情報 通知システムを運用開始

盛岡地区広域行政事務組合消防本部では、12月15日(火)から携帯電話やIP電話などで119番通報した場合に、通報者の発信位置を自動的に受信できるシステムの運用を開始します。

■システムの内容

▷第3世代以降の携帯電話やIP電話(電話番号が「050」で始まる電話を除く)などを使用して119番通報した場合、音声通話と同時に通報者の発信位置に関する情報が自動的に通知されます。

▷「184」を付加した発信者番号非通知で発信した場合は、通報者の位置情報が通知されません。ただし、緊急に位置情報が必要であると判断したときは、位置情報を取得することがあります。

▷携帯電話の位置情報は、電話の機能や地理的な条件などにより十分に確認できないことがあります。119番通報するときには、これまでどおり住

所や目標になる建物などを伝えてください。

詳しくは、盛岡地区広域行政事務組合消防本部通信指令課(☎019-622-2175)まで。



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

宝くじの収益金をまちづくりに

財団法人自治総合センターでは、宝くじ受託事業収入を財源に、地域で行われている交流・伝統文化の継承などの共同活動の健全な発展と、宝くじの普及・広報を目的とした「コミュニティ助成事業」を実施しています。

本年度は、八幡平市松尾地区振興協議会(田村勘太郎会長)が130万円、八幡平市荒屋地区振興協議会(本宮武彦会長)が250万円の助成を受け、地域の特性を生かした活気あふれる地域づくりのため、はんてんや太鼓などイベント用備品を購入しました。

コミュニティ助成事業について詳しくは、市企画総務部地域振興課(☎76-2111、内線1123)、松

尾総合支所地域振興課(☎74-2111、内線2107)、

安代総合支所地域振興課(☎72-2111、内線3120)まで。



↑新調した太鼓で盆踊りがにぎやかさを増します(松尾地区振興協議会)

→そろいはんてんが盆踊りを盛り上げます(荒屋地区振興協議会)

